

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1182	(H.24)No.	1182
-----------	------	-----------	------

事務事業名		エコツーリズム構想策定事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		観光交流室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 23 年度 ~ 平成	年度	エコツーリズム推進法		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	363512
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	エコツーリズム構想策定事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
産業振興ビジョンに掲げるエコツーリズムの推進を図るため、エコツーリズム推進法による全体構想を策定し、特定自然観光資源の指定による保護と自然環境を活かした地域観光の活性化を図る。	

めざす効果(事業目的)	
全体構想を策定することにより、エコツーリズム推進法に基づき、特定自然観光資源を指定し、それを活かした効果的・戦略的な取り組みを図ることができる。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・エコツーリズム構想策定事務委託料(4,800千円) ・事業推進報償費(151千円) ・旅費(9千円)	・事業推進報償費(200千円) ・旅費(10千円)	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			・事業推進報償費(200千円) ・旅費(10千円)	・事業推進報償費(200千円) ・旅費(10千円)	・事業推進報償費(200千円) ・旅費(10千円)
<b>直接事業費</b>	<b>4,959千円</b>	<b>210千円</b>	<b>210千円</b>	<b>210千円</b>	<b>210千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	1,500			
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 3,459	210	210	210	210
人工数	職員	0.41人	0.22人	0.22人	0.22人
	臨時職員等	0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 3,044千円</b>	<b>1,657千円</b>	<b>1,657千円</b>	<b>1,657千円</b>	<b>1,657千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 8,003千円</b>	<b>1,867千円</b>	<b>1,867千円</b>	<b>1,867千円</b>	<b>1,867千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	エコツーリズム推進協議会の会議開催回数	組織	-	-	-	3
	実績			-	-	-	3
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
エコツーリズム構想を策定することができた。	策定したエコツーリズム構想に基づき、その具体的なアクションプログラムの策定を図る。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
旅行形態の変化や個人旅行の増加など、観光ニーズの変化に伴って、エコツーリズムへの関心が高まってきている。こうした観光ニーズに対応し、観光誘客につなげることが求められる。	市内全体でのエコツアーガイドによるエコツアーの実施が求められている。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	観光資源の保全・整備や活用について複数の地域ビジョンに位置づけられている。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	観光資源の保全・整備やその活用の部分を反映させている
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
エコツーリズム推進のため、引き続き計画策定を推進する必要がある。

特記事項